

# 第60期 事業報告書

自 令和3年4月1日  
至 令和4年3月31日



オアシス広場の「ブーゲンの森」  
(令和4年5月)



宮崎の情報をいち早く！  
(自社制作懸垂幕)



ビジネスルーム「天岩戸(あまのいわと)」  
(令和4年3月14日オープン)



「美しい空と大地のウクライナに愛を」  
日向神話のステンドグラス原画制作者  
影絵作家 藤城清治氏(98歳)寄贈



宮崎ブーゲンビリア空港

Miyazaki Bougenbiria Airport

**M** 宮崎空港ビル株式会社



# 事業報告

（ 自 令和 3 年 4 月 1 日 ）  
（ 至 令和 4 年 3 月 31 日 ）

## 1. 営業の概況

### （1）当期の概要

当期におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、我が国の社会経済は依然として厳しい状況で推移いたしました。これまで以上に業種間格差が鮮明となってきており、製造業等の一部業種ではコロナ前の水準に戻りつつありますが、感染拡大によるさまざまな行動制限が課せられる観光業や運輸業、飲食業にとっては、大変厳しい経営環境となりました。

そのような中、夏には「2020 東京オリンピック・パラリンピック」、本県では「第 35 回国民文化祭、第 20 回全国障害者芸術・文化祭」が開催されるなど、社会経済活動を徐々に回復させていこうとの動きも見られるようになりました。しかしながら、2 月にはロシアによるウクライナへの武力侵攻という緊急事態が発生し、世界的に先行き不透明感が強くなっております。

航空業界では、コロナの感染状況と連動して、年間を通し旅客需要の増減が繰り返され、不安定な状況で推移いたしました。国内線では、感染状況によっては、旅客需要が回復する場面も見受けられ、全体では前年から大幅な増加となったものの、依然として厳しい状況に置かれております。また、国際線においては、世界的な感染拡大の影響に加え、2 月以降の国際情勢の緊迫化によって極めて厳しい状況が続いております。

宮崎空港においても、今期の年間乗降客数は 1,390,267 人、前年比 152.7%（+ 479,879 人）と、前年よりは増加いたしました。しかしながら、令和元年度比では 44.6%（△ 1,726,246 人）と、全国の空港と同様ではありますが、コロナ禍前の状況には遠く及ばない結果となりました。国際線は前年に続き、韓国線、台湾線の運休により、乗降客数の実績はありませんでした。

このような状況のもと、当社におきましては、お客様の安全・安心の確保のため、感染防止対策を徹底してまいりました。また、全社をあげて、新たな収入の確保と経費の削減に取り組み、安全のための必要な投資は行いつつ、収支バランスの改善に努めてまいりました。さらに、当社のキャッチフレーズである「楽しい旅のお手伝い」に、新たに「くらしのお手伝い」を加え、地域の皆様方に喜んでいただける企画やイベントを積極的に実施してまいりました。

その結果、営業収入は 2,551,344 千円 (前年比 127.0% + 541,835 千円)、営業経費は 2,767,796 千円 (前年比 108.7% + 221,225 千円) となり、営業損失は 216,452 千円、経常損失は 251,585 千円となりました。しかし、雇用調整助成金をはじめとするコロナ関連各種補助金等を活用させていただいたことで、当期純損失は 32,829 千円と前期に比べ赤字幅の大幅な縮小を図ることができました。

## (2) 具体的取り組みと今後の対応

お客様の安全・安心の確保については、空間除菌装置や子供・車椅子利用者用手指消毒器の導入、手荷物カート等への抗菌コーティングなどハード面の充実に加え、宮崎県の協力を得て空港ビル職員を含む空港関係者のワクチン優先接種を実施することができました。また、地域住民の津波避難訓練についても、感染防止に十分留意し 3 年ぶりに実施いたしました。

そのような中、当社の営業収入の柱となっている物販部門や飲食部門については、将来に向け、3階グルメ街のリニューアルやテナント化といった営業形態の見直しを検討する中で、季節感のある店づくりや地域特性を活かしたイベントの開催等に取り組むとともに、乗降客の動向に対応した店舗運営に努めてまいりました。

物販部門では、1階売店を空港のショールームとしてリニューアルし、国民文化祭の開催に合わせた「神話の玉手箱ショップ」や日本一となった「宮崎ぎょうざ祭り」などを実施しました。

飲食部門では、「神話の玉手箱弁当」や「季節のオードブル」など、テイクアウト商品の強化を図るとともに、旬の素材を使った料理やデザートフェアを各店舗で開催いたしました。

もう一つの収入の柱である貸室部門では、宮崎市の御支援もいただきながら、前期に引き続き、航空会社に対する貸室料や施設使用料等の減額を行いました。テナントの貸室料や館内の広告料についても、状況に応じた減額を実施しております。また、3階の空きスペースをWEB会議に特化した会議室「天岩戸（あまのいわと）」として新たに整備し、コロナ禍における多様なニーズに対応できる体制を整えました。

施設面では、緊急性の高い補修工事や省エネ機器への更新工事、災害時の安全性に関わるエスカレーターの耐震強化工事等を優先して実施しました。今後、コロナ禍で中断していた旅客搭乗橋（PBB）の更新を計画的に進めてまいります。

地域活性化については、昨年4月に「地域活性推進課」を新設し、兼務発令した10名の若手社員を中心に、観光物産のPRや各種イベントの開催、新たな情報サービスの提供など、組織全体として積極的に取り組んでまいりました。その結果、マスコミに何度も紹介されるなど、反響の大きさに手応えを感じております。特に、空港発の県内ツアーについては、「神話と花のバスツアー」や「宮崎花旅365バスツアー」を計4回（累計10回）開催し、毎回多くの県民に参加していただきました。コロナ禍にあって、地元の魅力を満喫するマイクロツーリズムの先進事例ともなっており、今後は全国の皆様にも対象を広げながら、新たな宮崎観光のモデルとなるよう内容の拡充を図っていきたくと考えております。

### （3）令和4年度の展望

令和4年度当社では、11月に会社創立60周年という大きな節目を迎えることになりました。そこで、3つの基本方針（①成長・進化する会社へ ②楽しい旅とくらしのお手伝い ③地域貢献・活性化に努め、地元へ愛される空港づくり）を定め、グループ会社や関係企業の皆様方と連携して新たな時代へと進んでまいりたいと考えております。

国内線の旅客需要は、全体的に回復基調にあります。ビジネス客の出張の手控えや団体旅行の低迷など、本格的な回復に至るにはまだまだ相当の時間がかかるものと考えられます。また、長引く新型コロナの影響や国際情勢の変化に伴う資源高、

円安による輸入価格の押し上げ等の懸念もあり、当社を取り巻く状況は引き続き厳しいものと予想しております。私共は、この難局に対し役職員一丸となり、業務に邁進し3年ぶりの黒字化を目指し取り組んでまいります。

さらに、宮崎の空の玄関として、「空港に来れば今の宮崎が見える」と実感していただけるよう、地方空港としての使命や役割を責任を持って果たしていきたいと考えております。

また、今年5月のことでありますが、宮崎で予定されていた「全国空港ビル事業者協会総会」を、3年越しでようやく開催することが出来ました。同協会の皆様には特別なご配慮をいただき、心より感謝申し上げます。

尚、空港民営化につきましては、コロナ禍の状況も踏まえ、それぞれの空港の事情によって企業参入条件や求められる事業計画等が変わってくるものと思われまますので、引き続き情報収集に努め研究を続けてまいります。

最後になりましたが、国、宮崎県、宮崎市など行政の皆様、並びに関係機関の皆様からは多くのご支援をいただきました。改めて御礼申し上げます。

私どもでは、これからも「おもてなしこそが最大の観光資源」をモットーに「まだまだ、ニコニコ、一歩ずつ」を行動指針として、快適な空間の提供や地域の活性化に努め、県民の皆様信頼される会社を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上

## 乗降客の状況

### 【宮崎空港状況】

#### ①年間乗降客数比較（令和3年4月～令和4年3月）

	令和3年度 (本年)	令和2年度 (前年)	増 減	対前年比	令和元年度 (前々年)	増 減	対前々年比
国内線	1,390,267人	910,388人	479,879人	152.7%	3,116,513人	△1,726,246人	44.6%
国際線	0人	0人	0人	—	71,662人	△71,662人	—
国内・国際線 合計	1,390,267人	910,388人	479,879人	152.7%	3,188,175人	△1,797,908人	43.6%

- ※特記事項
- ・新型コロナウイルスの影響もあり、コロナ禍前（令和元年度）との比較も記載しております。
  - ・国際線については、前年に続き運航はございませんでした。
  - ・欠航便及び運休便主な内訳：台風及び天候不良 107 便（△ 132 便）・機材故障 27 便（△ 1 便）
  - ・新型コロナウイルスによる運休減便 10,126 便（△ 8,099 便）
  - ・令和4年度状況  
4月・・・前年比 162.3%、令和元年度比 59.3%  
5月（速報）・・・前年比 281.5%、令和元年度比 65.3%

#### ②路線別乗降客数実績表（令和3年4月～令和4年3月）

##### 【対前年比較】

	本 年	前 年	増 減	対前年比
羽 田	612,507人	391,364人	221,143人	156.5%
成 田	104,040人	35,793人	68,247人	290.7%
東 京 計	716,547人	427,157人	289,390人	167.7%
伊 丹	265,170人	187,128人	78,042人	141.7%
関 空	61,336人	32,729人	28,607人	187.4%
大 阪 計	326,506人	219,857人	106,649人	148.5%
福 岡	250,317人	183,098人	67,219人	136.7%
名 古 屋	66,775人	54,037人	12,738人	123.6%
沖 縄	29,046人	25,604人	3,442人	113.4%
チャーター及び臨時便	1,076人	635人	441人	169.4%
合 計	1,390,267人	910,388人	479,879人	152.7%

【対前々年比較】

	前々年	増 減	対前々年比	(座席数)	
				対前年比	対前々年比
羽 田	1,481,322 人	△ 868,815 人	41.3%	138.2%	65.3%
成 田	138,183 人	△ 34,143 人	75.3%	227.3%	112.5%
東 京 計	1,619,505 人	△ 902,958 人	44.2%	144.8%	68.6%
伊 丹	601,849 人	△ 336,679 人	44.1%	142.7%	59.5%
関 空	115,936 人	△ 54,600 人	52.9%	131.8%	77.4%
大 阪 計	717,785 人	△ 391,279 人	45.5%	140.9%	61.7%
福 岡	534,419 人	△ 284,102 人	46.8%	126.0%	74.0%
名 古 屋	157,347 人	△ 90,572 人	42.4%	90.4%	69.2%
沖 縄	85,216 人	△ 56,170 人	34.1%	101.3%	91.7%
チャーター及び臨時便	2,241 人	△ 1,165 人	48.0%	176.4%	60.7%
合 計	3,116,513 人	△ 1,726,246 人	44.6%	134.1%	68.6%

③航空会社別状況（令和3年4月～令和4年3月）

	ANA	JAL	ソラシドエア	LCC 計	合計
乗降客数 (対前年比) (対前々年比)	446(千人) (134.2%) (36.3%)	435(千人) (163.7%) (45.3%)	343(千人) (141.0%) (51.0%)	165(千人) (241.4%) (65.0%)	1,390(千人) (152.7%) (44.6%)
座席数 (対前年比) (対前々年比)	925(千席) (124.0%) (51.4%)	932(千席) (152.7%) (67.2%)	945(千席) (119.6%) (92.1%)	293(千席) (181.4%) (97.1%)	3,097(千席) (134.1%) (68.6%)
利用率 (前年実績) (前々年実績)	48.2% (44.5%) (68.2%)	46.6% (43.5%) (69.1%)	36.3% (30.8%) (65.6%)	56.4% (42.4%) (84.2%)	44.9% (39.4%) (69.0%)

※上記数値には、国際線の乗降客は含まれておりません。

※ ANA については、本年のORC乗降客数 101,091 人、座席提供数 213,860 席を含めた実績で計上いたしております。

※ LCC 計は、PEACH とジェットスターの合算となっております。



④九州各空港の乗降客数（令和3年4月～令和4年3月）

空港名	国内線	対前年比 (対前々年比)	国際線	対前年比 (対前々年比)	合計	対前年比 (対前々年比)
福岡	9,440,092人	145.5% (53.7%)	26,229人	155.8% (0.4%)	9,466,321人	145.6% (41.0%)
那覇	7,994,726人	121.3% (45.7%)	30人	428.6% (0.0%)	7,994,756人	121.3% (38.7%)
鹿児島	2,677,894人	146.0% (49.2%)	0人	—	2,677,894人	146.0% (46.4%)
宮崎	1,390,267人	152.7% (44.6%)	0人	—	1,390,267人	152.7% (43.6%)
長崎	1,336,966人	150.5% (43.2%)	0人	—	1,336,966人	150.5% (42.3%)
熊本	1,336,181人	159.7% (42.9%)	0人	—	1,336,181人	159.7% (41.4%)
大分	854,088人	153.2% (47.8%)	0人	—	854,088人	153.2% (46.5%)
北九州	481,505人	149.0% (35.5%)	0人	—	481,505人	149.0% (30.4%)
佐賀	145,233人	128.1% (25.0%)	0人	—	145,233人	128.1% (19.9%)
合計	25,656,952人	138.4% (48.0%)	26,259人	—	25,683,211人	138.4% (40.7%)

## 2. 会社の概況（令和4年3月31日現在）

### (1) 会社の目的

- ① 貸室および施設、設備貸与業
- ② 土産品、酒類、煙草、郵便切手、収入印紙、薬品および雑貨品の販売  
および斡旋業
- ③ 食堂、喫茶店および娯楽施設の経営
- ④ 損害保険代理業
- ⑤ 旅行業法に基づく斡旋業
- ⑥ 広告宣伝業
- ⑦ 催物の企画並びに販売
- ⑧ 駐車場運営および造園、植樹に関する事業
- ⑨ 航空思想の普及並びに観光に関する事業
- ⑩ 前各号に附帯する一切の事業

### (2) 主要な事業内容

- ① 貸室業 航空会社並びに売店・飲食業のテナント
- ② 売店 土産品および酒、煙草販売
- ③ レストラン

### (3) 株式の状況

- |            |          |
|------------|----------|
| ① 発行可能株式総数 | 30,000 株 |
| ② 発行済株式総数  | 20,000 株 |
| ③ 株主数      | 21 名     |

④ 大株主（上位 11 名）

株 主 名	持 株 数	議 決 権 比 率
宮 崎 交 通 株 式 会 社	7,865 株	39.3 %
ANA ホールディングス株式会社	4,000	20.0
株 式 会 社 宮 崎 銀 行	1,000	5.0
宮 崎 県	1,000	5.0
日 本 航 空 株 式 会 社	700	3.5
宮 崎 市	600	3.0
恒 吉 宏 三 郎	560	2.8
九 州 電 力 株 式 会 社	500	2.5
株 式 会 社 宮 崎 放 送	500	2.5
旭 化 成 株 式 会 社	500	2.5
フエニックスリゾート株式会社	500	2.5

⑤ 株式の移動

当期中における株式の移動はございません。

(4) 重要な子会社の状況

会 社 名	資 本 金	持株比率	主 な 事 業 内 容
宮崎空港商事株式会社	10,000 千円	100%	1. 土産品卸売業及び 各種商品の製造、販売 2. 売店及び飲食店の経営
株式会社 味のガンジス	10,000 千円	100%	1. レストランの経営 2. 加工品の販売

(5) 取締役及び監査役

取締役及び監査役の氏名等

地 位	氏 名	担当または主な職業
取 締 役 会 長	長 濱 保 廣	株主総会・取締役会議長
代表取締役社長	永 山 博 康	総括・常務会議長 CS・コンプライアンス担当
常 務 取 締 役	下 沖 忠 広	財務・経理担当
常 務 取 締 役	大 森 正 勝	施設・危機管理担当
常 務 取 締 役	大 坪 篤 史	業務・地域活性化担当
取締役経理部長	大久保政彦	経理部担当
取締役営業部長	藤 本 誠 一	営業部担当
取締役総務部長	前 田 剛 宏	総務部担当
取 締 役	日 隈 俊 郎	宮崎県副知事
取 締 役	菊 池 克 頼	宮交ホールディングス株式会社 代表取締役会長
取 締 役	中 村 雄 志	全日本空輸株式会社 宮崎支店 支店長
取 締 役	伊 東 芳 隆	日本航空株式会社 宮崎支店 支店長
監 査 役	平 野 亘 也	株式会社宮崎銀行 代表取締役会長
監 査 役	林 田 洋 二	株式会社宮崎太陽銀行 代表取締役頭取

※取締役 戸敷正氏は2月5日付で辞任いたしました。

(6) 使用人の状況

区分	人数	前事業年度末比 増減	平均年齢	平均勤続年数
正社員及び 契約社員	80名	△7名	32.4歳	10.2年
嘱託社員及び パート・アルバイト	148名	△45名	50.4歳	7.5年
合計	228名	△52名	43.3歳	8.3年

## (7) 営業成績及び財産の状況の推移

区 分	第 57 期	第 58 期	第 59 期	第 60 期
	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度 (当 期)
売 上 高	千円 4,645,235	千円 4,434,255	千円 2,009,509	千円 2,551,344
当 期 純 利 益 又は当期純損失(△)	千円 149,068	千円 59,843	千円 △313,970	千円 △32,829
1 株 当 た り の 当 期 純 利 益 又は当期純損失(△)	円 7,453.40	円 2,992.19	円 △15,698.50	円 △1,641.46
資 産 合 計	千円 9,390,410	千円 8,712,066	千円 8,454,282	千円 8,229,225
純 資 産 合 計	千円 4,884,927	千円 4,212,069	千円 3,874,194	千円 3,858,332

## (8) 主要な借入先、借入額

借 入 先	借入金残高
株 式 会 社 宮 崎 銀 行	1,991,400 千円
株 式 会 社 宮 崎 太 陽 銀 行	1,378,080 千円
株 式 会 社 日 本 政 策 投 資 銀 行	200,000 千円

# 貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

資産の部			負債の部		
科目	金額		科目	金額	
	千円	千円		千円	千円
<b>流動資産</b>		<b>615,854</b>	<b>流動負債</b>		<b>1,698,501</b>
現金・預金	368,940		短期借入金	1,020,000	
売掛金	140,947		1年以内返済予定の長期借入金	270,000	
売店商品	41,632		買掛金	193,657	
食堂材料	9,591		未払費用	60,797	
貯蔵品	6,252		未払法人税等	5,106	
雑流動資産	25,266		未払消費税等	32,233	
未収収益	23,435		預り金	16,591	
貸倒引当金	△ 211		前受収益	54,202	
			賞与引当金	16,350	
			リース債務	29,563	
<b>固定資産</b>		<b>7,613,371</b>	<b>固定負債</b>		<b>2,672,391</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>(5,512,414)</b>		長期借入金	2,279,480	
建物	3,761,691		退職給付引当金	103,344	
建物付属構築物	884,673		役員退職慰労引当金	207,183	
機械装置	39,209		預り保証金	24,297	
機械装置	340,567		リース債務	58,085	
什器備品	122,730		<b>負債の部合計</b>		<b>4,370,893</b>
車両運搬具	0		<b>純資産の部</b>		
庭園	7,302		<b>株主資本</b>		<b>2,865,810</b>
土地	303,333		<b>資本金</b>		<b>200,000</b>
リース資産	52,907		資本金	200,000	
<b>無形固定資産</b>	<b>(41,995)</b>		<b>利益剰余金</b>		<b>2,665,810</b>
ソフトウェア	13,036		利益準備金	50,000	
無形リース資産	28,435		その他利益剰余金	(2,615,810)	
その他の無形固定資産	522		施設改修積立金	1,500,000	
<b>投資その他の資産</b>	<b>(2,058,961)</b>		任意積立金	1,100,000	
投資有価証券	1,759,311		繰越利益剰余金	15,810	
子会社株式	10,000		<b>評価・換算差額等</b>		<b>992,521</b>
出資金	289,650		その他有価証券評価差額金	992,521	
<b>資産の部合計</b>		<b>8,229,225</b>	<b>純資産の部合計</b>		<b>3,858,332</b>
			<b>負債・純資産の部合計</b>		<b>8,229,225</b>

(注) 1.子会社に対する短期金銭債権 266千円 3.有形固定資産の減価償却累計額 11,063,097千円  
 2.子会社に対する短期金銭債務 42,136千円 4.担保に供している資産 76,980千円

# 損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

科 目	金 額		
	収 入	支 出	損 益
	千円	千円	千円
貸 室 収 入	978,696		
売 上 収 入	1,469,759		
使用料及び手数料収入	102,888		
<b>営 業 収 入 計</b>	<b>2,551,344</b>		
売 上 原 価		964,204	
人 件 費		734,782	
諸 経 費		666,204	
償 却 費		402,605	
<b>営 業 経 費 計</b>		<b>2,767,796</b>	
<b>営 業 損 失</b>			<b>216,452</b>
受 取 利 息	2		
その他の営業外収入	19,203		
<b>営 業 外 収 入 計</b>	<b>19,205</b>		
支 払 利 息		54,063	
その他の営業外支出		276	
<b>営 業 外 経 費 計</b>		<b>54,339</b>	
<b>営 業 外 損 失</b>			<b>35,133</b>
<b>経 常 損 失</b>			<b>251,585</b>
特 別 利 益			
国庫補助金受贈益	233,405		
<b>計</b>	<b>233,405</b>		
特 別 損 失			
固定資産圧縮損		5,692	
固定資産除却損		1,455	
<b>計</b>		<b>7,147</b>	
<b>税引前当期純損失</b>			<b>25,328</b>
法人税・住民税及び事業税			7,501
<b>当 期 純 損 失</b>			<b>32,829</b>

- (注) 1. 子会社に対する売上高 4,921 千円  
 2. 子会社からの仕入高 383,915 千円  
 3. 1株当たりの当期純損失(△) △ 1,641.46 円

# 株主資本等変動計算書

当会計期間(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:千円)

	株 主 資 本							評価・換算 差額等	純 資 産 の 部 合 計
	資 本 金	利 益 剰 余 金					株 主 資 本 合 計		
		利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金			利 益 剰 余 金 合 計			
			施 設 改 修 積 立 金	任 意 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金			そ の 他 評 価 差 額 金	
当 期 首 残 高	200,000	50,000	1,500,000	1,450,000	△296,359	2,703,640	2,903,640	970,554	3,874,194
当 期 変 動 額	任意積立金			△350,000	350,000	-	-		-
	株主配当金				△5,000	△5,000	△5,000		△5,000
	当期純損失(△)				△32,829	△32,829	△32,829		△32,829
	株主資本以外の項目							21,967	21,967
当期変動額合計	-	-	-	△350,000	312,170	△37,829	△37,829	21,967	△15,861
当 期 末 残 高	200,000	50,000	1,500,000	1,100,000	15,810	2,665,810	2,865,810	992,521	3,858,332



## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項

#### (1) 有価証券の評価基準および評価方法

- ① 子会社株式……………移動平均法による原価法。
- ② その他の有価証券  
市場価格のあるもの……………期末日の市場価格等に基づく時価法。  
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、  
売却原価は移動平均法により算定)  
市場価格のないもの……………移動平均法による原価法。

#### (2) 棚卸資産の評価基準および評価方法

製品、原材料、仕掛品……………先入先出法による原価法。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 建物

平成10年3月31日以前に取得したもの……………法人税法に規定する旧定率法。  
平成10年4月1日以後平成19年3月31日以前に取得したもの  
……………法人税法に規定する旧定額法。  
平成19年4月1日以後に取得したもの……………法人税法に規定する定額法。

##### ② 建物附属設備及び構築物

平成19年3月31日以前に取得したもの……………法人税法に規定する旧定率法。  
平成19年4月1日以後平成24年3月31日以前に取得したもの  
……………法人税法に規定する定率法(250%定率法)。  
平成24年4月1日以後平成28年3月31日以前に取得したもの  
……………法人税法に規定する定率法(200%定率法)。  
平成28年4月1日以後に取得したもの……………法人税法に規定する定額法。

##### ③ 建物、建物附属設備及び構築物以外の有形固定資産(リース資産除く)

平成19年3月31日以前に取得したもの……………法人税法に規定する旧定率法。  
平成19年4月1日以後平成24年3月31日以前に取得したもの  
……………法人税法に規定する定率法(250%定率法)。  
平成24年4月1日以後に取得したもの  
……………法人税法に規定する定率法(200%定率法)。

##### ④ 無形固定資産(リース資産除く)……………法人税法に規定する定額法。

##### ⑤ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係わるリース資産  
……………リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法。

#### (4) 引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金……………売上債権、貸付金等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上。
- ② 賞与引当金……………従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額基準による当事業年度末の負担額を計上。
- ③ 退職給付引当金……………従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき計上。
- ④ 役員退職慰労引当金……………役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を計上。

## 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

### (1) 発行済株式の総数に関する事項

株式の種類	前事業年度末の株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末の株式数
普通株式	20,000株	—株	—株	20,000株

### (2) 剰余金の配当に関する事項

#### ① 配当金支払額

令和3年6月25日開催の第59回定時株主総会において、次のとおり決議されました。

決議	株式の種類	配当金の総額	配当の原資	1株当たりの配当額	基準日	効力発生日
令和3年6月25日 第59回定時株主総会	普通株式	5,000千円	利益剰余金	250円	令和3年 3月31日	令和3年 6月28日

#### ② 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

令和4年6月28日開催の第60回定時株主総会において、次のとおり付議いたします。

決議	株式の種類	配当金の総額	配当の原資	1株当たりの配当額	基準日	効力発生日
令和4年6月28日 第60回定時株主総会	普通株式	5,000千円	利益剰余金	250円	令和4年 3月31日	令和4年 6月29日

## 3. その他の注記

端数処理の方法……………記載の金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 監 査 報 告 書

私たち監査役は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの第60期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

私たち監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会及びその他の重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示していると認めます。

令和4年5月17日

宮崎空港ビル株式会社

監査役 平野 亘 也 ㊟

監査役 林 田 洋 二 ㊟

以上

# 宮崎空港ビル株式会社

取締役会長	株主総会・取締役会議長	長 濱 保 廣
代表取締役社長	総括・常務会議長 CS・コンプライアンス担当	永 山 博 康
常務取締役	財務・経理担当	下 沖 忠 広
常務取締役	施設・危機管理担当	木 村 剛 啓(新任)
常務取締役	業務・地域活性化担当	大 坪 篤 史
取締役 経理部長	経理部担当	大久保 政 彦
取締役 営業部長	営業部担当	藤 本 誠 一
取締役 総務部長	総務部担当	前 田 剛 宏
取締役	宮崎県副知事	日 隈 俊 郎
取締役	宮崎市長	清 山 知 憲(新任)
取締役	宮交ホールディングス(株) 代表取締役社長	渡 邊 俊 隆(新任)
取締役	全日本空輸(株)宮崎支店 支店長	中 村 雄 志
取締役	日本航空(株)宮崎支店 支店長	福 岡 実 恵(新任)
監査役	(株)宮崎銀行 取締役会長	平 野 亘 也
監査役	(株)宮崎太陽銀行 代表取締役頭取	林 田 洋 二

(令和4年6月28日現在)



## ■ 宮崎空港ビルの使命・役割

～楽しい旅と暮らしのお手伝い～

当社は、空の玄関として、航空機を利用されるお客様を次の目的地へ、安全かつ迅速にお送りするとともに、快適な空間を提供し、あわせて航空業界の発展に寄与していくことを使命とする。さらに、地方空港として、宮崎の文化や観光、経済の情報を発信し、地域社会の発展に努めていく役割を担っている。

## ■ 経営理念

- ・ 当社の使命・役割を果たす為に、積極的な事業展開を行い、健全経営に努めます。
- ・ 地域の発展に積極的に取り組み、県民の皆様にも愛され、信頼される企業を目指します。
- ・ 「おもてなしこそが最大の観光資源」との想いを継承し、日本一のおもてなし空港を目指します。
- ・ 社員を大切に、一人ひとりが夢を持てる、明るい企業を目指します。

## ■ 行動指針

～まだまだ、ニコニコ、一歩ずつ。～

私たちは、県民の皆様にも代わって、お客様をお迎えする立場であることを自覚し、いつも「お陰様で、ありがとうございます」という感謝の気持ちを、お客様に感じていただける接客に努めます。

- ・ 私たちは、安全安心のサービス提供のため、徹底した安全管理・衛生管理に努めます。
- ・ 私たちは、いつも明るい笑顔と感謝の心をもってお客様の心に残る一歩先のおもてなしに努めます。
- ・ 私たちは、お客様の声を最も重要視し、どんな小さなことでも全て報告します。
- ・ 私たちは、お取引をいただいている皆様に、常に感謝の気持ちをもって接します。
- ・ 私たちは、より高い目標を持ち、常に背伸びをして、自己能力の向上に挑戦します。
- ・ 私たちは、サービスのプロとして、社員同士がお互いに注意しあえる職場づくりを目指します。

# 宮崎空港ビル令和3年度の取り組み

## 国文祭・芸文祭みやざき2020 関連事業

宮崎空港では、令和3年7月3日から10月17日まで本県で開催された「国文祭・芸文祭みやざき2020」の機運を高めようと、一階に総合案内所を設置するとともに様々なPRイベントを実施致しました。

また、「神話のふるさと宮崎」をPRするため、宮崎空港商事と共同でお菓子の新商品「神話の玉手箱シリーズ」を開発し、販売を始めました。

さらに、厳選した宮崎の海の幸・山の幸を使用した「神話の玉手箱弁当」も同時期に提供を始め、いずれも大変好評を頂いております。



## 津波避難訓練について

### ■ 第5回津波避難訓練 11月13日（土）

地域住民の皆様との津波避難訓練を夜間を想定して実施致しました。また、2階レセプションルームでは、毛布類や非常食等の備蓄品の展示を行い、防災意識の向上と啓発に努めました。

※この訓練は、津波発生時の避難施設として宮崎市と協定を締結したことを受け、地域住民の皆様と2年に1度実施しております。2020年はコロナウイルス感染拡大の影響を受け実施できませんでしたので、3年ぶりの実施となりました。



## 宮崎の情報をいち早く！

宮崎空港では、宮崎の様々な情報を自社制作の懸垂幕で即時発信しております。

これからも「宮崎の今」を多くの皆様にご覧いただけるよう情報発信に努めてまいります。

※令和3年度に宮崎市が餃子「購入頻度・支出金額」のランキングで見事日本一になった際にも、いち早く懸垂幕を掲げました。





# 宮崎空港発の県内バスツアー



**日程**

宮崎空港集合	ホテル到着後ランチにてお昼休憩
宮崎空港発 9:00	
このちのくに (観光・見学)	
宮交がたミニバスツアー乗車 (観光・見学)	
春畑 (原野観光)	
昼食	
海の駅いづ (自然・物)	
道の駅なんごう (自然観光・お買い物)	
マリンビューワーなんごう (自然観光)	
宮崎空港 (見学)	
宮崎空港にて解散 17:30予定	

**日時** 令和4年3月19日 ● 9:00~17:30

**料金** 大人1人 7,000円 (税別) 幼児4歳未満 3,500円 (税別) 10歳未満 5,000円 (税別)

**申込** 宮崎空港ビル(株) TEL (0985)-51-5111 ● 申込人数 25名様 ● 申込は2週間前まで受付いたします。

地域活性化の一環として「宮崎空港発の県内バスツアー」を企画し、「神話と花のバスツアー」や「宮崎花旅365バスツアー」を計4回（累計10回）開催しました。毎回多くの県民の皆様にも県内各地の魅力を体感していただき、マイクロツーリズムの先進事例ともなっています。今後は、より多彩な内容のツアーを企画するとともに 全国の皆様にも対象を広げ、宮崎の新たな観光事業に育てていきたいと考えています。

## 新たなビジネスルーム「天岩戸」オープン

■ 3月14日（月）

空港の更なる利便性の向上を目的に、3階の空きスペースをWEB会議に特化したビジネスルームとして再整備致しました。

平成2年のターミナルビル建設時のコンセプトが「南国リゾート」、「神話のふるさと」であることから、ルーム名を神話にちなんだ「天岩戸（あまのいわと）」としました。大変景観も良く、ご利用のお客様にご好評頂いております。



1時間 4,400円(税込) 以後 30分毎に 2,200円(税込) となります。

宮崎フーゲンビア空港

# オリジナル商品のご紹介

JAL国際線機内食に採用された宮崎和牛カレーをベースにコロコロお肉とスパイシー感をプラス。美味しさ・満足度バワーアップ!



## 宮崎和牛 ゴロゴロカレー



宮崎空港カレーシリーズ



ガンジス 宮崎和牛 宮崎黒豚

1箱 (180g) **1,000円**

## ガンジスカレー

【ガンジス・宮崎和牛・宮崎黒豚】

1箱 各 **550円**



夢かぐら オリジナル

## 冷やし汁

1袋

**432円**

2袋箱入

**864円**

※1袋はお茶碗2杯分です。

## 宮崎空港限定

## 三種の本格焼酎

アルコールド度数三十三度。芋、麦、そば。



本格芋焼酎 全量そば

芳醇な香りとコクの麦



本格麦焼酎 全量発酵蔵

繊細な甘みの芋



本格芋焼酎 発酵蔵



空港シェフ特製  
日向夏ドレッシング  
●220ml **600円**



空港シェフ特製  
金柑ドレッシング  
●220ml **650円**

ひむか燦々 (さんさん) 【芋・麦・そば】●720ml●33度 **各 3,300円**

宮崎の本格焼酎は、材料が多様性に富んでおります。それぞれの特徴を活かした「発酵蔵の芋」「長期熟成の麦」「全量そば」による三種の味わいをお楽しみください。

※表示価格はすべて税込価格です。

お酒の前に、小皿で飲みやすい  
4種のウコン効果!



ニシタチレジェンド  
●1袋(6包入) **1,100円**  
●1包 **200円**